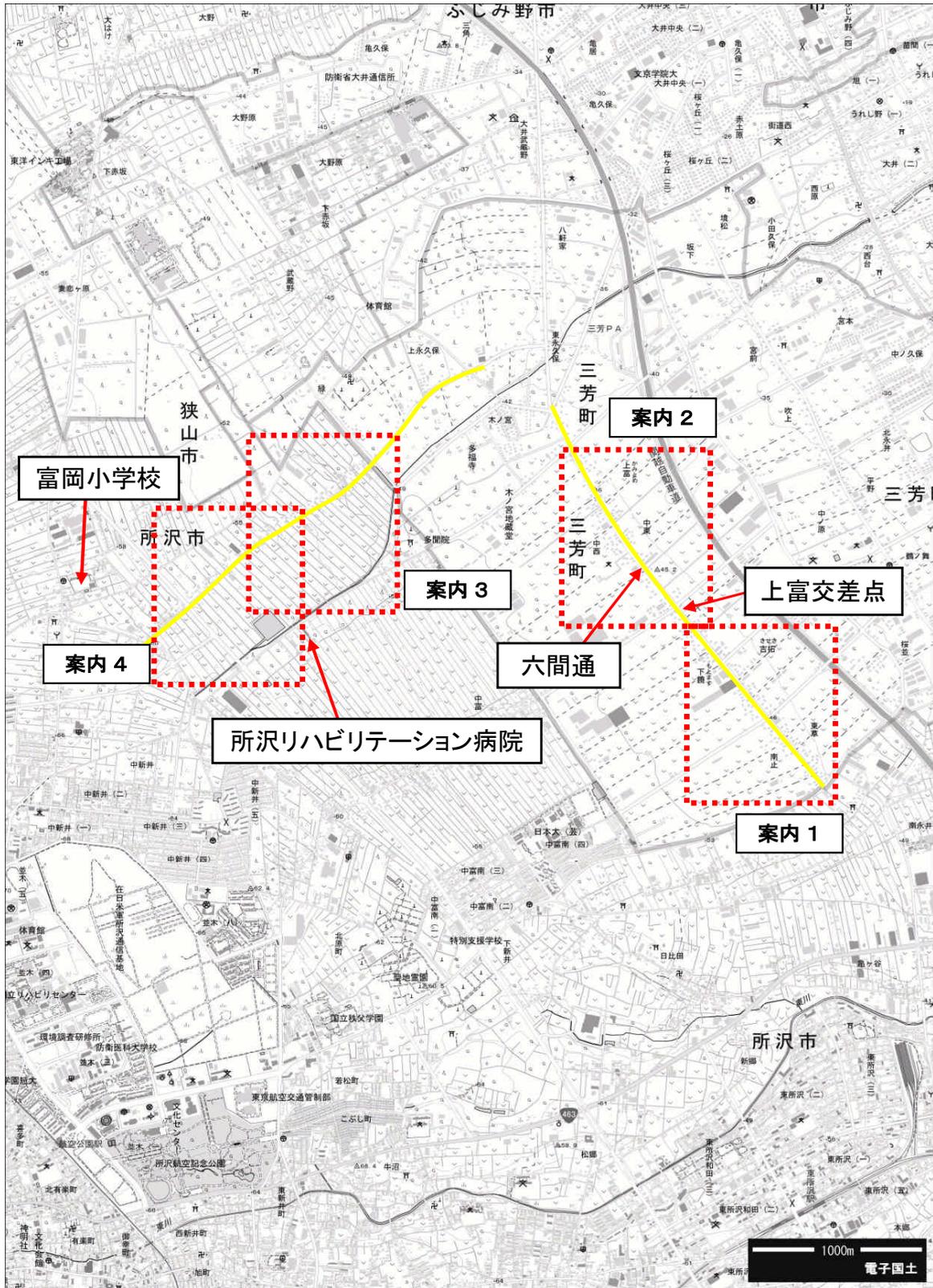


上富



案内図



上富



配置図

凡例



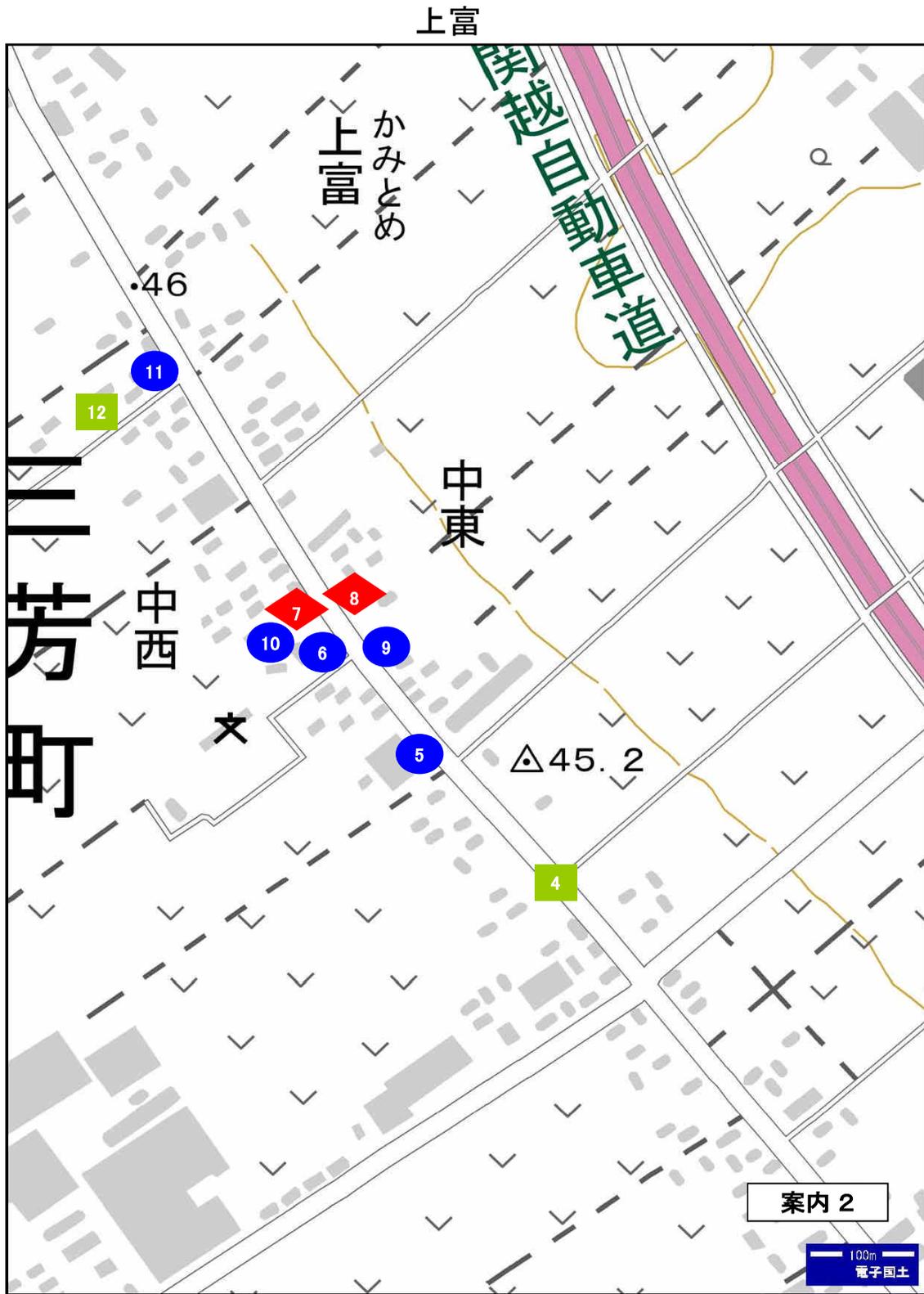
史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他



配置図

凡例



史跡・寺社等

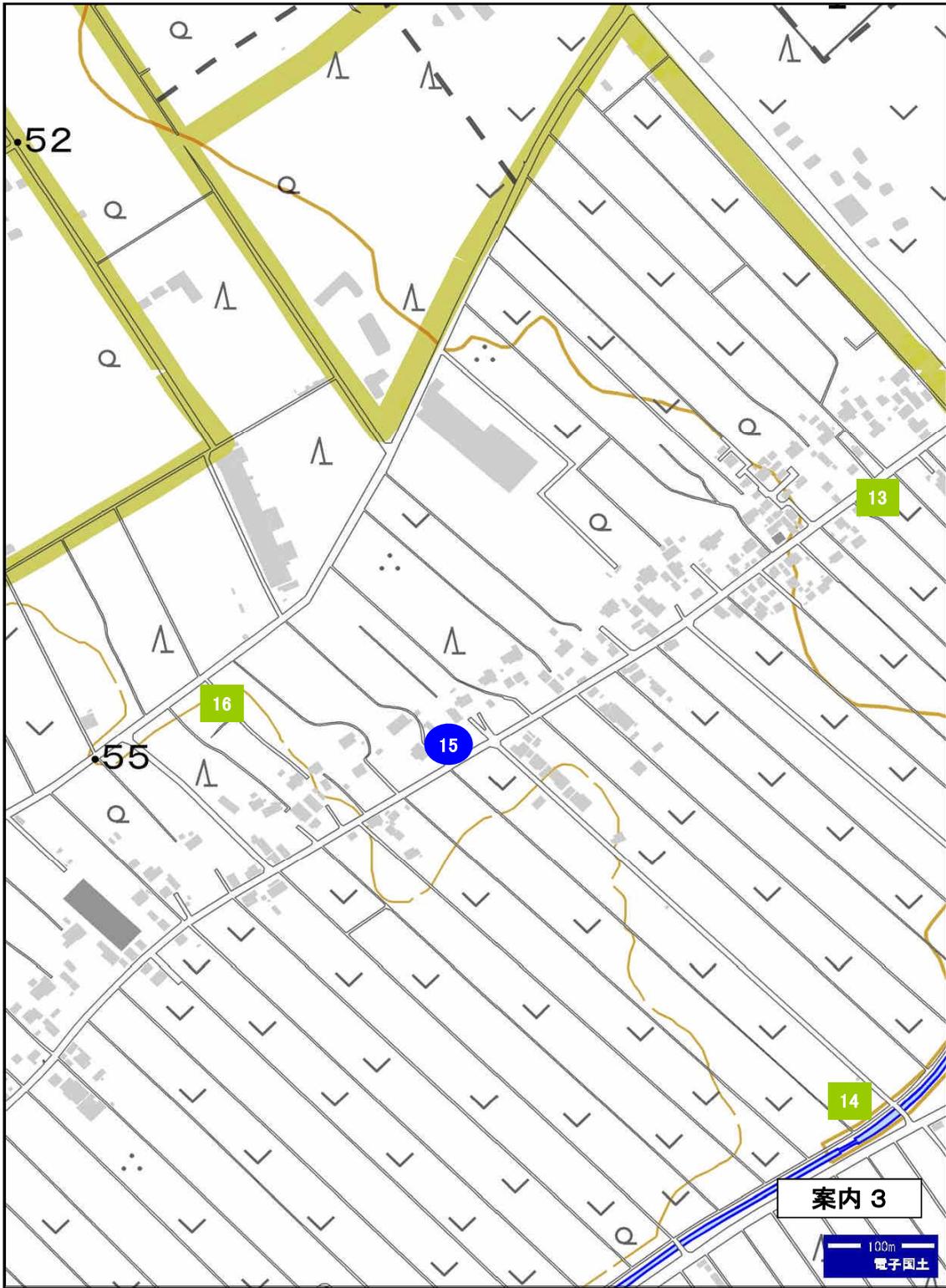


その他の建造物



通り・広場・樹木他

上富



配置図

凡例



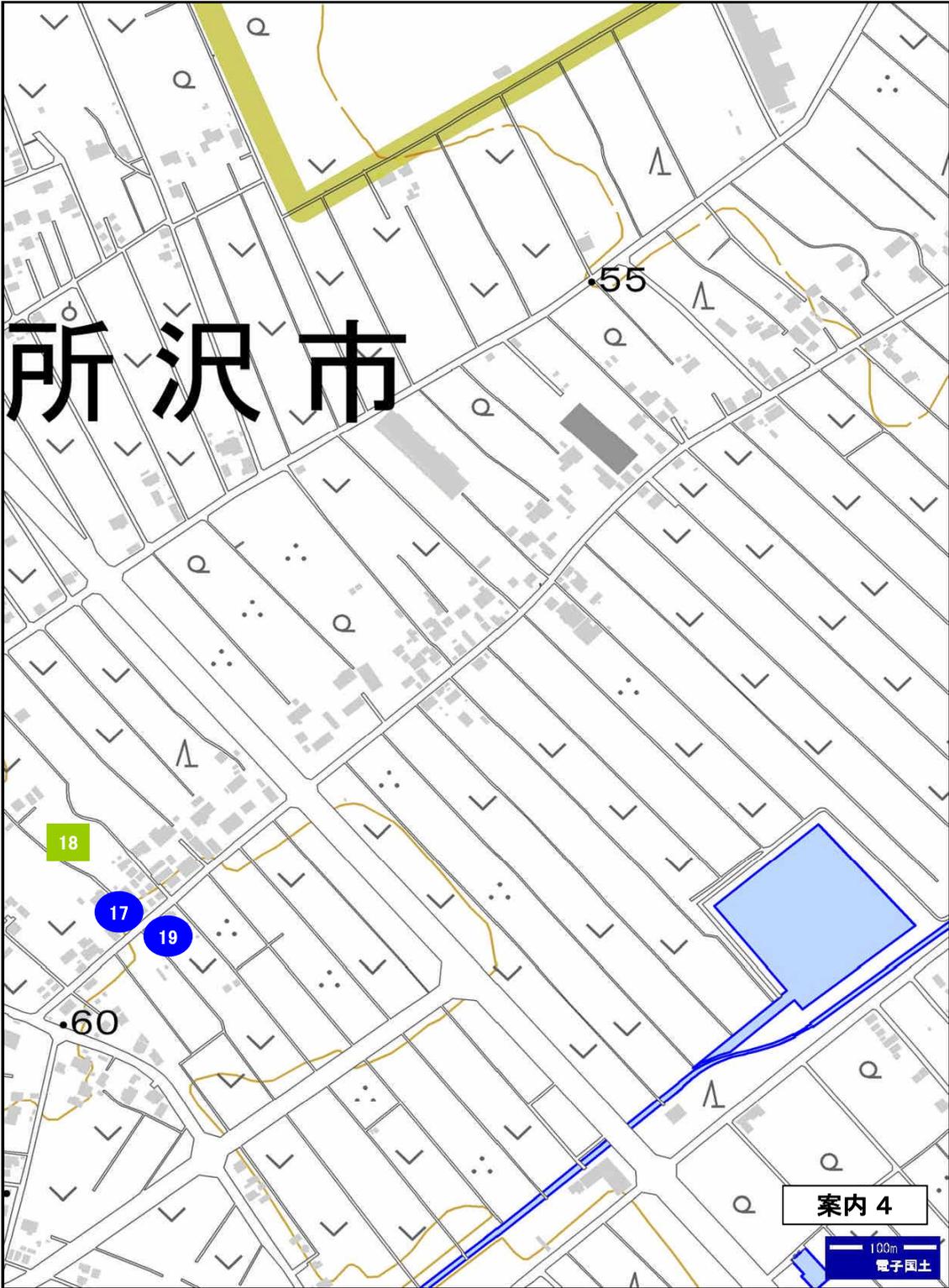
史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他



配置図

凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

上富



柳沢吉保が、農作物増産を目的として、開拓させた耕作地。特徴としては、幅6間(約10.9m)の道の両側に農家が並び、その一軒の農家毎に畑、雑木林が面積が均等になるように短冊形に並んでいるという地割である。この整然とした地割と景観は現在でも良く残されている。

1	ケヤキ並木	2	屋敷林と農家の敷地	3	街道と農家
	三芳町特別保存樹木のケヤキ並木。通称「六間道」の両脇に、2.5キロに渡ってケヤキが立ち並ぶ。また、あたかも並木を形成しているようだが、農家の屋敷林の一部として取り巻いているもの。		昔ながらの農家の屋敷林。		よく手入れされた庭木と蔵が美しい。
4	むさしの自然農場前	5	埋もれたデッキウオーク	6-A	旧島田家住宅
	残った屋敷林。		落ち葉で埋もれたデッキウオーク。ここにもケヤキが並び、後方には竹やぶも。		移築復元されたもの。藁葺き屋根と土壁が雰囲気を出している。割られた薪が沢山あったり、首輪付きの猫が住み着いていたり、心温まる光景である。

6-B 旧島田家住宅(トイレと井戸)	7 小さな祠	8 天王様
		
<p>景観に合わせたデザインの公衆トイレ。井戸の保存方法も雰囲気を出して行われている。</p>	<p>よく手入れされ、地元民に愛されている事がわかる祠。</p>	<p>天保2年の建立。 大石燈籠の笠の手洗鉢が転用され、また、天王様の脇にある石の祠には天神様が祀られている。</p>
9 デッキウォーク	10 火の見やぐら	11 店舗
		
<p>リスのモニュメントが可愛らしく載せられた案内板が特徴。 歩道に造られたデッキウォークも散歩道として使われている。</p>	<p>旧島田家の敷地内に建てられた立派な火の見櫓。</p>	<p>青く塗られた壁の店舗と庭の蔵が美しい。絵手紙教室も開かれている。</p>
12 開拓農地	13 開拓農地と屋敷林	14 耕作地
		
<p>茶畑と、どこまでも広がる農園。</p>	<p>新芽の頃に、霜の被害に合わないよう設置されているファンが茶畑に並ぶ。入間地区の典型的な茶畑の風景である。</p>	<p>見渡すかぎりの耕作地。 出荷されなかった人参が沢山転がっていた。 このような農地が農地として使われないと産廃置き場などに変貌してしまう。</p>

15	農家	16	屋敷林	17-A	蔵
					
<p>通りに面した広い農家。 梅が美しく咲いており、この場所からは、 天気によっては富士山も見える。</p>		<p>竹林や個人の墓石などもあり、薪や堆肥 もそこで造られている人工的な林。 人工の雑木林だが、耕作地とリンクして 活用されている風景である。</p>		<p>家紋入りの、立派な蔵。</p>	
		18	屋敷林内の小路	19	納屋
					
		<p>屋敷林が皆で共有されていた、昔の 名残のある小道。 冬でも緑が茂っている。 このような小道や屋敷林の連続を生活 の一部として残しておきたい地区である。</p>		<p>農機具などを納めている納屋。</p>	
空から三富を見てみよう					
					
<p>三富地区の航空写真。 調査地は赤い線の内側。</p>					